

2021 年 4 月 1 日

エンブレース株式会社の株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、保有するエンブレース株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：伊藤 忍、以下「エンブレース」）の株式の全部を、株式会社スズケン（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：宮田 浩美、以下「スズケン」）に譲渡することを決定し、このほど譲渡が完了したのでお知らせします。

エンブレース株式会社について

設立 : 2001 年 11 月（旧社名：株式会社日本エンブレース）
所在地 : 東京都港区
代表者 : 伊藤 忍
事業内容 : ソーシャル医療プラットフォーム事業
URL : <https://www.embrace.co.jp/>

株式会社スズケンについて

設立 : 1946 年（創業 1932 年）
所在地 : 愛知県名古屋市
代表者 : 宮田 浩美
事業内容 : 医療用医薬品、試薬、医療用機器、医療材料、食品などの販売、ならびに医療用機器の開発製造
URL : <https://www.suzuken.co.jp/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

【別紙】

1. 対象会社

- ・ 事業者名：エンブレース株式会社（旧社名：株式会社日本エンブレース）
- ・ 設立：2001 年 11 月
- ・ 所在地：東京都港区
- ・ 代表者：伊藤 忍
- ・ 事業内容：ソーシャル医療プラットフォーム事業
- ・ URL：<https://www.embrace.co.jp/>

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定公表日：2016 年 4 月 27 日 / 2018 年 3 月 7 日
- ・ 支援決定金額：4 億円（上限） / 3 億円（上限）
- ・ 実投資額：4 億円 / 3 億円 合計 7 億円
- ・ プレスリリース：地域包括ケアにおけるコミュニケーションプラットフォームを展開する株式会社日本エンブレースへの出資を決定
<https://www.incj.co.jp/newsroom/assets/1461731950.01.pdf>
医療・介護コミュニケーションプラットフォームを開発する株式会社日本エンブレースへの追加出資について
https://www.incj.co.jp/newsroom/PressRelease_INCJ_Embrace_20180307.pdf

3. 経緯

(1) 出資の経緯

エンブレースは、地域包括ケア^(*)における医療・介護従事者間のコミュニケーションを円滑化するプラットフォーム「Medical Care Station (MCS)」を 2013 年に開発しました。MCS は、医療・介護関連施設等に無料で提供され、医療・介護従事者間の連携や負担軽減に貢献してきました。

INCJ は、エンブレースの事業が、高齢化社会・社会保障費増大等の社会課題の解決に寄与するという社会的意義や、地域包括ケアの実現に向けて新たな仕組みを構築するという革新性から支援を決定し、2016 年 4 月に 4 億円を出資しました。更に、エンブレースの事業の進捗に伴い、システム・製品開発や人材採用の強化による MCS 事業の加速化のため、2018 年 3 月に 3 億円を追加出資しました。

^(*)地域包括ケア：厚生労働省は、高齢者が人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体で提供する支援体制を、2025 年までに整えることを目指しています。

(2) 事業の進捗

エンブレースが提供する MCS のユーザー数は、INCJ の初回出資時（2016 年 4 月）の 3 万人から 13 万人超（2021 年 1 月時点）まで増加し、MCS は地域包括ケアのコミュニケーション

プラットフォームのデファクトスタンダードとして成長しました。また、エンブレースは、MCS プラットフォームを活用した治療支援ソリューション等を製薬企業等に対して提供し、MCS の活用拡大を推進しています。

一方、INCJ は、社外取締役を派遣し、アーリーフェーズから資本面と事業面の両面で支援を実施しました。また、リード投資家として、民間 VC や事業者の呼び水効果を発揮し、MCS 事業の進展を支援しました。

(3) Exit の経緯・内容

エンブレースは、MCS の機能拡充やユーザー基盤の拡大により、地域医療介護従事者の負担軽減や医療介護の質向上に寄与してきました。エンブレースと筆頭株主である INCJ は、地域医療介護従事者や患者・家族のニーズにより一層応えるべく、MCS の更なる活用方法を検討していたところ、2020 年 2 月に資本業務提携を締結し、MCS の普及拡大等を共同推進してきたスズケンから INCJ に対し、INCJ が保有する株式譲受の申し出がありました。

スズケンは、医療用医薬品や医療用機器等の卸売業等の事業を通じて、全国 11 万 7,000 軒の病院・診療所などの医療機関や保険薬局とのネットワークを有しています。また、スズケンは、自社の経営資源とパートナー企業や地域社会をつなぎ、地域医療や医薬品メーカーの課題解決を図る「医療情報プラットフォーム」の構築を目指しており、MCS は医療機関と患者・家族をつなぐ役割として、本プラットフォームの実現への貢献が期待されます。

INCJ は、エンブレースが MCS 事業を更に進展させるためには、スズケン傘下で事業を継続することが望ましいと判断し、今回、保有する株式の全部を同社に譲渡することとしました。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

意見なし

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 入江、野々宮
東京都港区虎ノ門一丁目 3 番 1 号 東京虎ノ門グローバルスクエア 9 階
電 話：03-5532-7086 URL：<https://www.j-ic.co.jp/jp/>
<https://www.incj.co.jp/>